

戸田市薬剤師会 臨時理事会議事録

記録日	R4.11.8
記録者	芹澤

日時	令和4年11月8日 13:00~15:30	出席者	染川、野口、佐貫、小澤、鎌田、 芹澤、成塚
場所	多世代交流館 A 会議室		

議 題

- 報告事項
 - 薬学生実務実習及びエリア長について
 - 済生会川口病院 令和5年4月1日から完全院外処方発行(済生会川口病院薬剤部より連絡あり)
外来患者へは、11/2 から文書で告知
 - 三師会進行説明
 - ファックス分業経過
 - 11/21 災害医療研修について
 - 公平病院薬剤部からの依頼について
 - 戸田中央病院採用薬変更 資料添付
- 議題
 - 認定審査会委員更新の件
 - 第7次埼玉県地域保健医療計画の圏域別取組 令和3年度報告、令和4年度計画について
- その他

会議内容

- 報告事項
 - 済生会川口病院 令和5年4月1日から完全院外処方発行(済生会川口病院薬剤部より連絡あり)
外来患者へは、11/2 から文書で告知
 - ファックス分業経過
上記2点について、まず済生会川口病院の完全院外処方について染川会長より事実関係の話あり。それも踏まえ、兼ねてから済生会川口病院のFAX分業に関わる川口市薬剤師会への手数料について議論。今回は事前に意見の申し入れを行いたいとの申請があり会長から許可を得たかみとだ薬局成塚先生が発言。以下要約。
「現在手数料を支払わない戸田市にはFAXはおくれないとのことで、非常に患者さんに迷惑をかけている。一包化や複数科診療などで手間がかかる場合など非常に患者さんを待たせてしまいコロナ禍において適切な対応と言えるのか、疑問である。川口薬剤師会

に対し、FAXを送ってほしいとお願いしたが、それは戸田市薬剤師会で決めたことなので、染川会長からの一言がなければ対応できない、と言われた。また、そもそもFAX分業を行うにあたっては、川口市、蕨市、戸田市各薬剤師会との共同事業であり一緒に設置したのに、会長が変わってから戸田市が払えないと言ってきたことに困惑しているとのことです。そして済生会川口病院のFAX問題だけでなく、戸田市薬剤師会の会員獲得にも影響していると感じます。加入率が50%を切っていることを真摯に受け止め、会員の利益になるような活動を望みます。」

それに関し染川会長より「3市薬剤師会の共同事業というのは初めて聞いた。その時になんらかの契約が交わされていたらそれを遵守する責任が生ずる。一度そのことについてしっかり確認したい。」との発言あり野口副会長も同調。

小澤理事からは川口市薬剤師会との話は戸田市全体ではなく希望する薬局に絞った話にした方が良くとの意見あり。この議論のスタートは契約ない先から勝手にFAX送られてきて手数料払えという話に納得できないという会員からの声で理事会にかけたという経緯がある。FAX手数料が経理を通らない事業者もいると思う、との主張に対し参加理事一定の理解を示した。

・戸田中央総合病院採用薬変更の伝達法について小澤理事より提案あった。成塚広報委員長よりHPの会員ページに載せるのはどうかとの話があり全会一致で賛同を得た。

・薬学生実務実習及びエリア長について佐貫先生より説明あり。時期の戸田市の学校薬剤師のエリア長にはハロー薬局の岡先生を推薦すること。理事会でも異論なし。

・三師会進行説明について野口副会長よりタイムテーブルが示された。そして当初蕨薬剤師会の2名を受付のお手伝いをお願いしていたが、医師会、歯科医師会ともに会費をまとめてお支払いいただく事になり、戸田市薬剤師会有志で行う事になった。

受付（鎌田理事、ひつじ堂薬局伊藤先生、ハロー薬局斉藤先生）

・公平病院薬剤部からの依頼について芹澤副会長より事情説明ある。コロナ第8波にむけ、公平病院では薬剤備蓄の確認作業を行なっているが、コロナ細粒が入らず患者さんに提供し切れる量ではないとのこと。会員薬局で分けていただけるところがないか、という打診があったことを説明。芹澤は「コロナ細粒は流通が滞っていて会員薬局も苦慮しているところです。実際錠剤を砕いて粉にしている薬局もあると聞いています。」と回答し思い通りの対応が出来ないことを謝罪した。

2. 議題

・認定審査会委員更新の件について、芹澤理事より交代の申し出があった。大事な決定期間であり、会長からの推薦とのことで、誰でも良いというわけではないが在宅委員長など個別にあたってみることで了承された。なお、任期は3年(令和5年4月から3年)

決定事項

- 三師会の役割分担
- 戸田中央総合病院の採用薬変更をHP会員ページで。
- 薬学性実務実習戸田エリア長に岡先生

検討事項

- 注射針回収の広報
- 医薬品流通の改善
- 会員薬局の麻薬備蓄
- 学校薬剤師委員会の活性化
- ホームページの活用
- 地域連携委員会の運用と当会のサポート体制
- 戸田市の薬剤師の掘り起こし
- 新たな会員区分の創設
- 戸田中央 H P 以外の病院との薬々連携
- 地域における麻薬の在庫と処方側との情報共有のあり方
- 会営薬局の設立
- ウォークラリーの実施
- 本会情報管理及び情報発信の一元化
- 川口済生会 F A X コーナーの手数料